

森のおくりもの2月



セリバオウレン（キンポウゲ科）



寒が終わり、立春を迎えようとしています。今年の冬は、雪が少なく寒さもそれほどでもなかったような感じですが、このまま春に向かうのでしょうか。小鳥の森の野鳥観察小屋が老朽化して危険なため、ずいぶん前から立ち入り禁止にしておりましたが、ついに撤去されることになりました。その工事のため2月から3月にかけて小鳥の森が立ち入り禁止になります。夏鳥たちが飛来する4月には通行可能になる予定なので、ご不便おかけしますが、しばらくお待ちください。

【写真・文 早坂 徹】

葉が「落ちない」 ヤマコウバシ



キレイな茶色い葉



落葉樹なのに、冬でも葉が落ちずに春まで残っている樹があります。その中でも、きれいな薄茶色で少し艶のある葉をつけている**ヤマコウバシ**。「落ちない」ことから受験生のお守りとして使われる所もあります。クロモジと同じ仲間で、この葉も（葉が緑色の時）よい香りがします。そして、雌雄異株なのに雄株（花粉）がなくても実をつける不思議な木です。

太白山周辺が分布の北限になっているようで、観察の森には**ヨシの湿地**周辺に数本、市道沿いに数本あります。

■混芽
冬芽の中に、葉と花が一緒に入っている。
光沢のある部分と銀色の毛が付いている部分と交互になっている芽鱗が美しい。

冬芽

花

■め花
雌しべが出ている。（おしべは退化している。）日本に雄株は少ないらしい。
花は4月下旬～5月上旬
小さいうえに色も薄く葉の下で咲くので目立たない。

実

■黒い果実
別名の「ヤマコショウ」は黒く熟す実にはコショウのような辛味があることからついたそうだが、私はまだ食べたことがない。
実がなるのは10月上旬。

落葉樹が冬に葉を落とすのは、冬の乾燥などから（葉の蒸散作用など）樹に負担をかけないようにするためです。では何故、ヤマコウバシは葉を落とさないのでしょうか。「もともと常緑樹だったのが、落葉樹へ変化を始めて今でも適応できずに常緑樹の性質が残っていて春になるまで葉を落とさない」という説が有力だそうですが、本当のところは分かりません。ただ、1月末にもものすごい強風が吹いても葉は落ちないでしっかりとついていました。乾燥にも強風にも耐えるヤマコウバシってすごい。

【レンジャー：黒川周子】

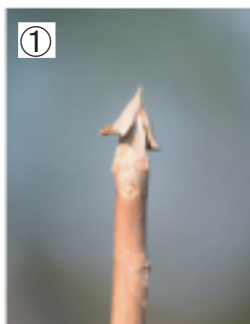
2月の生物ごよみ

冬の森を歩いてみるといろいろな冬芽[※]に出会えます。冬芽[※]や葉痕[※]は植物によってその形がさまざまなので名前を調べるのに役立ちます。この冬、あなたも冬芽の観察をしてみませんか？

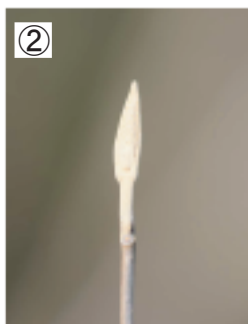
第二弾

冬芽クイズ

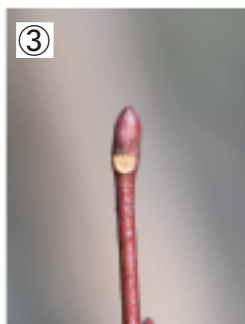
先月に引き続き『冬芽クイズ』の出題です。観察の森で見つけた冬芽たち。あなたはいくつわかるかな？



① じんがさ
陣傘をかぶっているよう



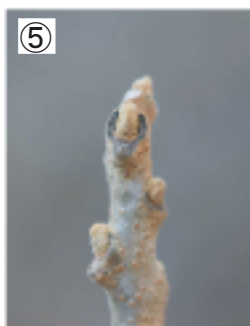
② ムラサキの実をつけます



③ 有毒植物として知られる



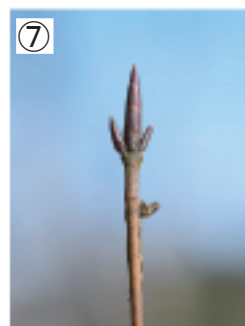
④ 大きな葉っぱをつけます



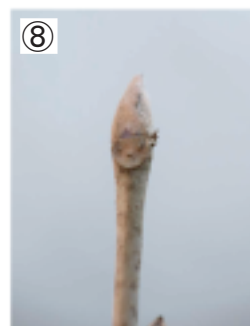
⑤ ウルシの仲間



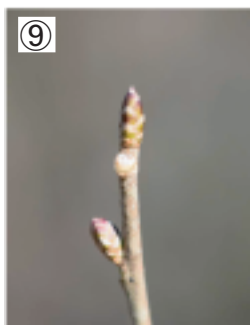
⑥バラ科の植物



⑦ ニシキギ科の植物



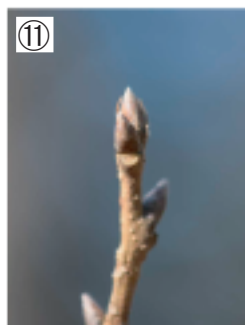
⑧ 小人の顔に見える



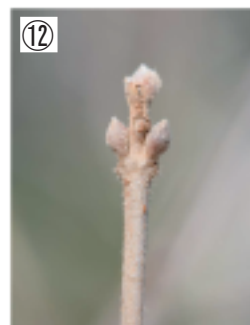
⑨ シマシマの冬芽が特徴



⑩ ドングリをつけます



⑪ 樹液はカブトムシが大好き



⑫ 別名『ソゾミ』

【レンジャー：齋 正宏】

※冬芽（ふゆめ） 春に葉や花になる部分。

※葉痕（ようこん） 葉が枝についていたとこに残るあと。

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『果報は寝て待て（かほうはねてまて）』

暦の上ではもう春ですが、実際には寒さが一番厳しい時期です。寒い朝は布団からなかなか出られず、「冬眠できたらいいのに…」なんて思ってしまいます。そんな冷え込んだ日の森は、木々たちも寒さで凍えているように見えます。春までの辛抱だと眠っているように感じ、思い浮かんだのが『果報は寝て待て』です。「幸福は自分の力ではどうにもならず自然にやってくるものなので静かに待つのがよい」というこの言葉。寝ている間に幸運がやってくると誤解しがちですが、調べると「吉報をつかむために自らできることを行い、後は焦らず自然にその時機が来るのを待つ」ということで、幸運は何もせず寝て待っていれば転がってくるという安易な意味ではありませんでした。

樹木もただ寝ているわけではありません。落葉したり、葉や花の芽（冬芽）や種子が冬期に発芽しないよう植物ホルモンの作用で休眠させ、一定期間冷たい温度にさらされないと発芽しない仕組みになっているなど、冬の状況に合わせた対策をしています。様々な努力をして春を待っているのですね。

果報とは仏教の教えで、「果」が良い結果、「報」が悪い報い。「よい結果になるか悪い報いがあるかは運次第だから、やるべきことをやったら慌てず焦らず落ち着いて良い巡り合わせを待つといい」という解釈が一番合っていると思いました。森の木々たちから「日頃から頑張っていればいつか必ず幸福が訪れるよ！」と応援されているような気がします。 【レンジャー：新田隆一】



森の「おとしもの」



その10 「手のひらの重さ」

1月10日に「やすらぎの道」で見つけたエナガのなきがらです。傷もなく羽もきれいなままで朝の日差しにほんのりと暖かくまるで生きているようでした。体重を計ってみたら6g。そっと手のひらにのせてみるとその軽さに驚きました。いつかエナガを手のにせてみたいと思っていましたが、この子が命を落としたおかげでと思うと…複雑な心境です。前日の雪と厳しい寒さに体力を奪われたのか？十分にエサがとれなかったのか？それとも体調が悪かったか？雪の夜に樹に止まったまま絶命し、風で枯枝が折れコナラの根本に落ち、そして他の動物に食べられる前に私が拾ったのでしょうか。



コナラの根本にうずくまるように…



最初枯枝を握っていたがすぐ折れてしまった

私は普段「明日も生きられるだろうか」と心配することはほとんどありません。ですが野生の生き物たちにとって明日は当たり前に来てくれません。天敵や悪天候、食べ物不足などでたやすく生きのびることができないのが普通なのです。

先日「エナガの一生」という絵本を購入しました。可愛さ満載のエナガと彼らを取巻く自然、生きる厳しさや美しさが描かれているおすすめの一冊です。新刊のコーナーに置いてありますので是非手にとってごらん下さい。【レンジャー:木田秀幸】



文の松原卓二氏は「モフモフ家族」「りすぼん」「エナガのねぐら」などモフモフ写真の第一人者、そして絵は漫画家の萩岩睦美氏代表作1983年りぼん連載の「銀曜日のおとぎばなし」等多数、何を隠そう私もファンでした



2月のイベント & お知らせ

◆「動物のフィールドサインを探そう」

- ・森の中の足跡や食痕などから観察の森にすむ生き物たちの暮らしを野生動物の専門家と探ります。

日 時：2月16日（土）10:00～12:00

定 員：20名〔先着〕 申込み：2月6日（水）午前9時より電話で

◆「木の実で作る、ひな飾り」

- ・準備してある自然の素材で自由にクラフトを作ります。

日 時：2月23日（土）10:00～15:30

持ち物：完成品を入れる袋など

※開催時間中随時受付 材料がなくなり次第終了



◆「野鳥のレストラン」好評開催中！（3月末まで）

- ・えさ台に集まる野鳥をあたたかい研修室の中から観察できます。野鳥クイズに正解すると『オリジナル野鳥のしおり』をプレゼント。

◆3月までのガイドウォークは午前1回です。

冬季（12月から3月まで）は午前10:00～11:30のみの開催です。
お間違いのないようお越し下さい。

◆2月24日は「館長と森を森を歩こう」です。



毎週
日曜は

「ガイドウォーク」の日！

2月の開催日は
3日、10日、17日、24日です。

今月のテーマは「**森とけものたち**」

開催時間：午前 10:00～11:30



森のちいさな
アトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。
2・3月は雪の結晶切り紙あそび



工事のため小鳥の森は3月31日まで、ヤマツツジの丘～ヨシの湿地への橋はしばらくの間通行止めになります。

2月の休館日

4日、12日、
18日、25日



宮城交通バスの場合

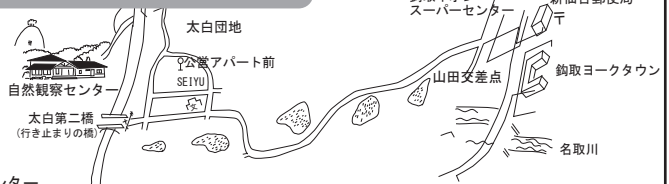
- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘庫行」乗車
（※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」）
いずれも 公営アパート前 下車 → 徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで！

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2019年2月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133